

令和4年度第3回御宿町教育施設検討委員会 議事録

日時：令和4年8月26日（金）

午後3時00分から

場所：御宿町役場中会議室

（事務局）

本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。それでは定刻となりますので、始めさせていただきます。本日、立野委員につきましては、所用で欠席でございます。吉田誠委員につきましては、後程遅れてくるということで連絡いただいておりますのでご了承ください。

それでは、令和4年度第3回御宿町教育施設検討委員会を開催いたします。

まず、はじめに三上委員長ごあいさつをお願いいたします。

（委員長）

本日はご多用の中、教育施設検討委員会にご参加くださりありがとうございます。7月の会議におきましては、候補地の視察並びに候補地に関しまして、委員の皆様がたくさんのご意見を伺うことができました。4つある候補地を2つまで絞ることができました。本日の会議は、御宿中、布施小とそれぞれ実際に建設した場合のイメージ等について、事務局よりご説明がございますのでどうぞよろしくお願いいたします。

（事務局）

ありがとうございました。続いて、石田町長よりごあいさつ申し上げます。

（町長）

皆さんこんにちは。本日、委員の皆様には大変お忙しい中、教育施設検討委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、前回会議におきましては、建設候補地についてそれぞれの立場から様々なご意見をいただきましたことに感謝申し上げる次第でございます。候補地につきましては、より具体的に選定する材料とするため、いろいろな要素を含めまして、町の現在の考えやご提案を事務局からご説明をさせていただく予定であります。なお、先日、7月の会議の後になりますが、小中一貫教育というお話がありましたので、先進地でございます長南町立長南小、中学校、茂原市立本納小、中学校の2箇所にと事務局とで視察に行っていました。2か所ともそれぞれに特徴がありまして、大変すばらしい施設の利用や教育課程等の編成につきましても工夫されておりました。後ほど幾つかご紹介いたしますが、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

（事務局）

それでは、御宿町教育施設検討委員会設置要綱第6条の規定により、委員長が議長となりますので、三上委員長議事進行をお願いいたします。

(委員長)

はい、それではよろしく願いいたします。

議題1 校舎更新候補地について

事務局より説明を求めます。

(教育課長)

はい、それでは私の方から、前回までの経過を含めましてご説明します。今日、資料が多く配布されております。これは、順番通りにまたご説明するんですけれども、その前に、町の方から2点ほどご説明をすることがございます。

御宿中学校の敷地が制定された場合に、現在の御宿中学校の校舎を前回見ていただいておりますが、御宿中学校の校舎をリニューアルして、そちらを御宿小学校に、御宿中学校を、新たに建設、新築するというようなことで考えております。

後でまた図面を見ながらまた詳しくご説明しますが、御宿中学校については普通教室が6部屋ございます。今、4クラスが使用されている状況です。今後、前にもお話した通り、1学年ずつの編成に将来的にもなっていくという部分がございます。6クラス普通教室があるので、それを、小学校にというような考えでおります。バリアフリーの設定もしているということで、階段の高さも中学生と小学生だと段差の高さが違うんですけれども、小学生の高さに今もなっていると言うことで充分小学校にできるというような部分もございます。小学校の基準にあっているというところとですね、あと、遊具についても前回お話があって、後でまた図面の中でご説明いたしますけれども、中学校建設に当たっては世界情勢が今すごく不安定という部分とですね。オリンピックのあとも建設資材が高騰していたりする部分で、ごく建てる費用が、当時、御宿中学校を建てた時よりも、同じ規模で建てるとなると倍ぐらいの金額がかかるという部分もございます。必要最低限の職員室、保健室、普通教室などを建設して、現在の今の御宿中学校の特別教室等は、小学校と共有で使用して行くような考えでおります。

候補地それぞれ概算建設費用につきましても、配置図の説明の時にご説明をしようと思っておりますが、あの1点目、御宿中学校にした場合にはそういうような考えですよというようなことを先に皆さんにお話しします。で、2点目については、学校の建設補助金の関係がございます。これについてはまだあの問い合わせ等もしているところもございますけれども、平松主査の方から少しご説明をさせていただきます。

(事務局)

私の方からは、公立学校施設整備についての補助金についてご説明をさせていただきます。まず、施設整備につきましては、公立学校施設整備費負担金と学校施設環境改善交付金ということで2本ございます。各補助金、負担金ごとに交付要綱に基づきまして、補助対象や算定方法等が定められておまして、大まかな流れと致しましては、まずは建築計画、施設整備計画を立てて、その計画についての認定申請をします。その後、国の認定を受けた後で、補助金の交付申請を行ない、その後、事業を実施して行くというような流れになっております。

では、具体的にどのような補助があるかというところを簡単ですが、ご説明させていただきます。

す。まず、一つ目の公立学校施設整備費負担金ですが、こちらが学校等の校舎や屋内運動場、体育館等の新設増設する場合に、経費の一部を国が負担し、学校の施設整備を促進して教育の円滑な実施を確保するというものになります。

もう一つ学校施設環境改善交付金、こちらは主に改築につまましての交付金で、老朽化に伴います改修などの大規模改修、劣化対策を要する建物の耐久性を高めるための長寿命化改良などがございます。現御宿中学校校舎につまましては、新築から20年を経過しておりますので、こちらの交付金の対象になってくるのではないかなというふうに思われますが、他にも対象事業のメニューがたくさんございますし、また場所をどこに選定するのか、どういう風に立てるかということによりまして、どの補助金を選択して行くのが最適なのかっていうのも変わってまいります。現在、近隣の市町村でどういった方法をとっているのかについても情報収集の方をさせていただいているところでありまして、まあ千葉県を担当者にも問い合わせしているところでございます。引き続きまた、担当課とも協議しながら進めて参りますので、よろしく願いいたします。以上になります。

それでは、各候補地の配置図については、江澤主事から説明をさせていただきます。

(事務局)

それでは、私から御宿小学校の配置についてご説明させていただきます。お手元に資料、御宿小学校校舎更新工事（布施小学校敷地内）と（御宿中学校敷地内）の2つをご用意しております。それでは、はじめに布施小学校敷地内の配置図をご説明いたします。

まず前提と致しまして、今回の配置図はグラウンドを広くとっており、200mトラックおよび直線の100mを確保した配置となっております。

校舎は一棟、駐車場、遊具を奥に配置することで、今回のようにグラウンドが広く確保できることとなります。また、体育館前にスペースを設けておりまして、ここはスクールバスのロータリーとしての活用が可能かと考えます。布施小学校は以上になります。

次に、御宿中学校敷地内をご覧ください。

まず課長からも説明がありました通り、中学校の新校舎を現在の駐輪場のところに配置しております。また、現在の中学校校舎が、小学校校舎となります。このように、小学校と、中学校が同一敷地内となった場合には、特別教室は現在の中学校校舎を共同利用として使用することとしております。そして新設される建物には特別教室は設けずに、新設校舎と既存中学校を渡り廊下で繋げることで特別教室への行き来を可能といたします。

また、現在の中学校校舎を、小学校校舎として使用するにあたり、小学校施設としての改修は必要になる部分が出てくると思われまます。

次に遊具の位置ですが、現在の中学校校舎の中庭と左側に電気室等があるんですけども、その後ろに配置しております。例えば中庭にはブランコ、ジャングルジム、シーソー、大型肋木など遊びを中心とした遊具、そして外側には鉄棒、登り棒、ラダー、うんてい、一本橋といったサーキット的遊具の配置といったことが考えられます。次に、スクールバス、保護者の送迎についてですが、現在の駐車場にロータリーを新設することで、車両の動線を確保しております。

グラウンドについては、新設校舎を配置図の場所に配置した場合に、現在、直線が100mでラ

インとっていますが、そこがかぶってしまいますので、新たに 100m 直線を設けている形となっております。

配置図については、以上になります。続きまして、各施設の概算費用についてご説明いたします。

布施小学校敷地内におきましては、既存校舎の解体、校舎の新築、グラウンド、駐車場遊具の整備費の他、諸経費、消費税を含めまして、約 17 億 3000 万円となります。次に中学校敷地内におきましては、校舎の新築、ロータリーの整備、グラウンド遊具の整備費の他、諸経費消費税を含めまして、約 11 億 3000 万円となります。

これはあくまで概算費用となりますので、各候補地共に費用が前後することが十分に考えられますが、本日お示し致しましたこの内容だと概算金額がこれぐらいの費用がかかるんだなということの認識をしていただければと思います。その他に必要な経費といたしましては、スクールバスのこともあると思います。

例えば新校舎が、中学校敷地内となりますと山側である御宿台、布施地区の児童が対象となった場合、対象者は約三割程度。布施小学校敷地内になりますと対象者は九割程度といったところになり、それに伴うスクールバスのスクールバスにかかる経費が継続的にかかるといったことも考えられます。私からは以上です。

(委員長)

ありがとうございます。それでは先ほど町長さんのあいさつの中に小中一貫校の先進地視察についての話がありましたので、ご報告をお願いいたします。

(町長)

はい、ありがとうございます。簡単に印象を申し上げさせていただきますと、長南小中学校につきましては、非常に学校敷地及びグラウンドが広く感じました。あとで、面積をうかがってみましたら、学校敷地全部で 47,000 平米ということでございまして、そのうちグラウンドが 31,000 平米ということでございました。

本納小中学校につきましては、すぐ脇に JR の線路が通っておりまして、騒音対策、当然全部防音措置をしているんですけども、ご苦労されているような状況でございました。ここはあの全体面積敷地面積が 25,000 平米。そのうちグラウンドが 19,000 平米、かなりあの非常に敷地的にもご苦労されているっていうか大変だなあという感がございました。そういう中で、この前皆様方にお伝えしました資料によりますと、御宿中学校は 32,000 平米というところでございます。そして、布施小学校は 18,000 平米弱ということですけど、そのような中で、なかなか敷地的にもうまく利用することが大事だと考えております。また、あの長南小中学校につきましては、隣接していろいろな施設、B&G 関係が体育館とかプールとか、グラウンドとかありますので、非常に子供達にとってみれば、すごくゆったりとした余裕のある施設だなあという感が強くございました。

また、本納小中学校につきましては、非常に狭い土地に 3 階の建てで立っている部分がございますので、受け入れていただいた校長先生はじめ先生方が子供の教育を考えて保護者の皆さん

から、いろいろなご意見をいただいているというようなことをおっしゃっておいりました。そういう中で、本納小学校の場合は非常に共有部分の活用などもいろいろ工夫されるというか、研究されて、施設自体がちょっとこじんまりしていますので、非常に先生方も苦勞されているなどという、逆にやはり共有の部分の利活用については学ぶところがあったかなと思います。2校とも素晴らしい学校でございましたので、色んな面で参考になったなと考えております。以上でございます。

(委員長)

はい、ありがとうございました。それでは今事務局及び町長さんから報告がありましたけれども、議員の皆様からご意見を伺いたいと思います。よろしくお願ひします。

今日は、事務局の方から、布施小、御宿中、それぞれそこになった場合のどのような施設が作られたりとかっていうところで、また予算面の話もありましたので、その提案された内容についてのご質問、ご意見を受けていう形であっていると思うんですがお願ひいたします。

(埋田委員)

先ほど、町長さんからも報告がありましたけれども、長南中学校と本納さんは、体育館とかグラウンドは共用で使っているのでしょうか。

(教育課長)

体育館は1個しかないんですけれども、長南中の方は普通の体育館が1つと武道場が別にあつてですね。武道の部活がなんかもうやられてないみたいなので、そこが開いている時には小学生はそこでも充分集まれる、両方とも使えるような状態。長南も本納もやりくりをしなきゃいけないというような形です。同じ所に入っていますので、さっき町長からもお話ありましたけれども、本納小学校よりは長南小学校の方がゆとりのある作りになっている。本納小もこれからもう2つの小学校が統合されてくるようなので、それは時代の変化で子供が減少してくるということも踏まえて、そういう建て方をしているようなんですけれども、それぞれその市町村の考え方がございますので、横並びで考えられない部分もあるんですけれども、視察した感じだと長南小中学校の方が隣に先ほどB&Gのプールだとか、グラウンドとか体育館があるということで、そちらも使えるというような部分としては機能的に使っているなというような感じですよ。

(委員長)

ありがとうございます。よろしいでしょうか。他にございますか。忌憚のないご意見を願ひいたします。

(吉野委員)

吉野でございます。ゆくゆくは、町の最上位計画である総合計画の方に今回のことが盛り込まれて方向付けがされていくもんだと思って承知しておりますけれども、このあと、子供たちの出生率や推計に基づいていろんなものが出てくるかと思ひますけれども、小中別々に行くのか、小

中一貫で行くのかって、いろんな方向づけがあるかと思うんですけども、それに達成するための方向付けをどうして行くのかっていうところだと思いますけれども、今のところの話を知るところ小中一貫校の流れは話がずっと出てくるんですけど、別に小中別々でもいいわけで、小中一貫校は見てますので、教育過程だったり、チャイムだったり、色んなところを見られてきて、例えば昼休みで工夫していること、こんなことをされているとか、こんな苦労されているとか、そんなところが聞きたいのが一つ、もう一つは本納小中学校っていうと、前の道がずいぶん狭いので、そこら辺で登下校の保護者の送迎だとか、こんな工夫してましたよとか長南が広いのは知っていますので、そんな苦労は全然ないのわかってますけれども、それに本納がどんな工夫していたのかとか、それを御宿でどうやって活用できるのか、そこら辺のところをちょっと紹介していただけるかもうちちょっといいのかなって思います。よろしくお願いします。

(教育課長)

まず、あの先ほどチャイムの話ですね。チャイムは鳴らしていないところが多かったですね。それぞれの先生が時間を管理するというような形で、学校によっては始まるの時間と中間時間と終わりの時間ということで、三か所ぐらい同じ小中学校同じ時間にして、日課を組んだりはしているんですけども、基本はチャイム鳴らさないほうが多かったです。

本納小中学校は、先ほど町長がお話しした通り校舎が線路沿いであって、二重サッシになっているんですけども、そちらも普通教室棟だけを建てたような形です。もともとの中学校の方の特別教室を全て小学生も使っていると言う面ではうちの方もそういう部分ではすごく参考になったところなんです。ただ、授業が重ならないように日課を組むのは大変ということはありません。道の話ですけども、ちょうど狭い側の門の方に、皆さんご存知かどうかあれですけど、大通りがグラウンドの向こう側にあり、そちら側を今度送迎の駐車場ということで考えているようですので、校舎に近い方の門の狭い道の方は通さないような形で考えているとのことで車と人のすみ分けをするような形で説明を受けてきております。まだ本納小学校だけが入っている状態ですのでまだ余裕がある状態。そこにもう一つ、小さい学校とあと本納小と同じぐらいの小学校の統合を見据えて、あそこに全部集めるということになっているようです。今の段階で、その子たちがきた時にどういうグラウンドの使い方がされているかまでは見てもわからなかったんですけども、場所的にはそっちの大通り側の方に車を集中させるような話をしました。

(吉野委員)

現状体育で言うと、中学校各学年3時間しかないんで9時間にするんですね。で、小学校はクラスあればそれぞれ2.5ぐらいの授業になるんですけど、今うちの学校なんかは人数が少ないので、2学年で一緒にやったり3学年と一緒にやったり、授業しないと授業としては成り立たなくなってきました。それを考えると、まあ、中学校と同じで合わせて18時間ぐらいの活用はできるのかな。ただ、バスケットのリングの高さなど小学校と中学校で全然違いますので、そこら辺のところはちょっと工夫しなきゃならないことなんだろうなというふうには理解をしているところであります。バスのことも教えてください。

(教育課長)

今の体育館の方とかち合う話とか色々あるんですけど、御宿町にもB&G体育館とグラウンドというのがすぐ近くにあるので、スクールバスを委託することによって、そのスクールバスの日中の活用というのも当然考えています。敷地内だけで調整ができないのであればB&Gの方を使うような、日中の話ですから、B&G体育館使ったり、野球場を使ったり、そういうことでの対応まで考えている部分はございます。なので、長南中は隣にありますので、送迎とかはそっちに行ってくださいとかやってるらしいんですけども、うちも近いような対応はとれるのかなと。全体でスクールバスについては、本納小学校の方はスクールバスが走っているわけではないので、全部の統合が終わった段階で遠くの方から連れてくるのにスクールバスを考えている。長南小中学校についてもすでに出来上がっていますので、御宿町よりもずっと広い範囲を、6路線でやっている。そのうち4台のバスを使って2本が往復ってというような形でやっている。送るときにもやはり2往復と部活とかがあるので、最終便をもう1回やるような形で運営しているということですので、うちもそういうのを考えてますので、その辺についての時間割等のやり方はぜひぶん参考になったかなと言うところですよ。皆さんなんか中学校の話になっていますけど、一応そういうところでは見てはきているところですよ。ただ、布施小学校に行った場合のスクールバスについては、人数があまりにも多いのでどういうルートでどのようにって言うところまでは考えがまだ及んでないので、布施小学校に行った場合には、台数的には相当必要だろうなと言うところでは考えています。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございました。学校の実情に合わせて、それでいろんな工夫されているというところが見られると思うんで、今回のこの候補地についても、やはりその辺の工夫というのは必要になってくるんじゃないかなと。一律にそれを参考にぴったり真似は出来ないけど、参考にはできると思うんで、やはり視察というのは大事なことなんじゃないかなというふうには思いました。他にもありますでしょうか。

(鶴岡委員)

布施小学校ともし小中一貫で中学校になった時の金額を教えてくださいんですけども、それぞれの新築した時の校舎は何階建てにするのかとそれぞれ新築だけの時の費用、少し具体的に教えていただければと思いますが、よろしいでしょうか？

(事務局)

布施小学校の敷地内からお伝えいたします。

校舎の階数ですけども、今回はあくまで配置で2階、3階どちらでも考えられるようになっていまして、建設費につきましては、校舎だけで約9億9000万円程度になっております。

次に御宿中学校敷地内の方なんですけども、こちらは3階建てで考えておりまして、校舎の金額だけですと約7億7000万円になっております。これに消費税がかかります。

(委員長)

他にございますか？

(鶴岡委員)

布施小学校の方で全部合算解体も含めて17億でこれは消費税は別ですか。

(事務局)

消費税諸経費全て含めて17億3,000万円です。

(委員長)

ありがとうございます。他にございますか。

(吉野委員)

子どもの立場からすれば、安全で学びやすい学校の方が良いと思うんですね。で逆に言うと、今度は親の立場で言うと、毎日の送迎のこと、もう一つは学校生活終わった後に家も親抱えてますけど、勝浦で言えば放課後ルーム、いすみで言えば学童、そこら辺のところも少しかかってくるのかなっていうような気がしてしまっています。全然ここは関係ないんですけども、そういう考えとかが何かあって、ここから先含めていろんな考えが持っていますよっていうのを紹介していただければ聞きたいなあというところでもあります。

(教育課長)

本納小学校の方は、学童を学校の中でやっておりまして、セキュリティも別にしていて状態で学校の一部屋を学童として使っております。長南の方は別の棟が同じ敷地内に平屋で立っていますので、そちらに時間になると、敷地内から通っている状態で学童については、議員さんたちからの質問等今回も出ているようで建設をする中で、建設委員会というところにかけてながら意見を聞いてどうしていったらいいかというところだと思います。御宿中学校の敷地であれば、今の児童館までそんなに距離があるわけではないので、今の小学校よりは近くなるという部分としては、今のままということもありえるし、新たにその部屋を別にして使うということになるかもしれませんが、まだその辺は今後の検討だと思います。そして、布施にいった場合には、当然そこで何かしらやらなきゃいけないだろうなとは思っていますが。学童について、所管が違うので、検討はその中では一緒にしてはいく予定ではありますけど、なかなか今ここで明確に答えるということは難しく、布施小についてはやはりスクールバス等が多く配置されますので、その辺で今の学童に連れて行くということも可能かもしれません。どこでやりますよというところまでは、まだ検討がされていないというところがございます。

(委員長)

他にございますか？

(埋田委員)

話が前後しますが、スクールバスについての質問です。うちの子が保育所有的时候に、保育園生と保育園バスの方に小学生の子と布施の方が乗ってくるとなった時に、小さい子たちのお母さん達は、大きい子たちに紛れ込んで怪我とか心配をされていたのが、今ちょっと頭をよぎったんですが、もしスクールバスが動くとなった時に中学生と小学生は同じに乗っていくでしょうか。分けるとか、小中学生なので怪我とか、心配はないと思うんですが、制服の子たちと私服の子たちと、なんとなく空気の違いを感じる子もいるだろうかなと思ったので、質問させていただきます。お願いします。

(教育課長)

今のところ、小学校のスクールバスしか考えておりません。中学校は今と変わらない状態です。

(委員長)

ありがとうございます。他にございますでしょうか？

(新島委員)

2回とも続けて遊具のことを切実な願いとして入れていただきたいと思ひまして、子どもの基礎感覚とか養ってあげなければいけないなど思っているのですが、これについては、中学校の方にあるエリアを止めて頂いたなって言うのはありがたいなというふうに思っています。なんかこの校舎内なんですけれども、もし小学校が2階になるか3階になるかで、かなり教室数も違ってきますし、学ぶ環境も違ってくると思っています。中学校さんの特別教室を共有するって言った場合に、じゃあどういふ特別教室を共有してとかっていうその辺の具体的な部分が見えないんですけども、あくまでもその辺は中学校敷地になったら決まったから、じゃあこの教室をこういうふうに共有しましょうって次の話になってくるのか、今の段階でご提案いただいて、議論の材料としていただけるのかなっていうところが一つもし分かれば、やっぱりわたしは教育に、お金はかかるものだと思ひていますし、先行投資が必要だと思ひていますし、子育て支援っていうのが今一番うん。高齢者が多い御宿町にどうやったら若い人たちに来ていただけるのかなって言った時に、前回、北村議員がやっぱり教育に魅力があった所って、今来てくださるといふ20代の方って給食費とかなんか医療費とかただの所に結構来てるなってのはわかるんですね。それで今増えてはきているので、そうなったときにやっぱり特別な子どもたちを育ててあげられる環境、ものすごく御宿の魅力はどこなのかなって言ったたら、この自然豊かなところで、のびのびと子どもを育ててあげられる環境っていうのは、誇れる部分だなあというふうに思ひしておりますので、なんとなくみなさんが御宿中学校がいいのかなというふうに思ひてらっしゃるのかなというところもあるんですけれども、私はやはりお金のこともそうですが、もう少し子どもたちがどんな環境で学べるのかというところが一つとあとやっぱり安全面で送り迎えの引き渡しとかに充分対応できるのかどうかっていうところがもうちょっと見ると検討の材料になるんじゃないのかなと肯定していた

だけると、ありがたいなあっていうふうに思ったのが二点です。

あと、もう一点はあの毎回出てるんですけど、どこの場面で保護者の方にご意見を頂戴するのかなってようなお考えがあれば、ある程度一つに絞った上で、こういう風に考えてまして、保護者に投げるのか、あくまでも選定の段階で投げるのかってところによって違って来るかと思えますし、教育っていうのは学校だけでできませんので、やっぱり地域や保護者の方にご理解頂いて、一緒に子供たち育てていきたいと思いますという姿勢が必要かと思えますから。そうなった時に校舎を立てる段階で、やはり親御さんたちにどうかっていうように、真摯にご意見を頂戴するっていう姿勢は必要だと思うんですけども、どの段階で本当に保護者の方にお示しするのか。5月の時点で保護者の皆様には、校舎のことについて文書を出していただいているんですけども、その中の文句をみても、やはり保護者の方達に今回コロナの時期なので聞くことはできないんですけども、改めてまたご意見頂戴致しますという内容の文書が出ておりますので、やはりそういうあたりを考えると、あの保護者の方のご意見を聞いていただきたいなというふうに思っております。以上です。

(教育課長)

保護者の方のお話をいいとするのかというところは。えっと、今回ですね。今日絞っていただければ一番いいんでしょうけど、なかなか絞りきれないようであれば、このまま二か所を持って地域に出ようかなと。その前に保護者の方に、ご説明をするような形を取ろうかなと言うところなんです。なので、一旦聞き方等も今後また調整を内部ですてからですね。どういうふうに聞こうかっていうところがあるんですけども、必ず意見は聞くような形を考えております。あと、区長さんにも地域にどうやって出て意見を聞こうかっていう部分もご相談しないといけない部分もございまして、区長さん方にお集まりいただいて、この2カ所なら2カ所お示しして、それで地域の人たちと聞きましょうか。みたいな話をしようかなと言うことで、まあ今後のスケジュール的にはあの皆さんのこの一旦の話し合いをここでいったん止めて地域に出て意見を聞こうと言うところでは考えております。すみません。わたくしからは特別教室の質問についてなんですけれども、まあ、小学校での、家庭にあります。家庭科、図工といったところが現在の中学校の校舎の方と共有する形になります。で、理科室の方は今の中学校の校舎で二つありまして、家庭科室も調理室と被服室と2つあります。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございます。

(教育課長)

もう1件魅力の部分で、御宿についてはあの両方とも自然豊かなところの町なので布施だから自然豊かという話ではなくて、御宿中学校も小学校もみんな自然の中に建っていると思います。その中で魅力という部分は、今までも示してきてこれから特別何かやるという部分はまた違う押し方というものもまだあるかもしれませんので、その辺は皆さんのご意見を聞く場所というのがまた別の場所であって、それでまた御宿の魅力をどう発信して行くかが当然出てくる部分とい

うのがあると思います。安全については、やはりあの一長一短で布施小学校に行ったら安全みたいな話になると、まったく違ってやはり今この間見学していただいた時にフェンスが張られていたと思います。やはり野生動物がすごく出るということもやはり危険な部分でもありますので、それがすべて安全という部分をできるだけ安全にするようには考えていかなきゃいけないんですけど、その生活する中でやはり子どもたちも安全というものを学んでいただくというのが、どの学校に決まったとしてもやはりやらなきゃいけないことなので、それぞれ決まった場所でどう安全に過ごしていくために何をやっていくかというような考え方がありだと思えます。以上です。

(委員長)

はい。ありがとうございます。

(新島委員)

私が触れた安全というのは、親御さんが引き渡しに来て、駐車場とかの対応が可能なのかどうかというところで、ご質問をさせていただきました。あとはもう一つは特別教室なんですけども、是非本当に特性を持ったお子さんが本当に増えているので、やはり個別に対応できるようなそういうお話ししたのは授業にかかる、それぞれの教科の特別教室ということなんですけど、やはりそういう部屋が今の教育現場には必要だということを、ぜひ検討の一つとして聞いていただければなというふうに思います。

(教育課長)

今の件ですけれども、昨年これを検討していくにあたって、御宿中学校にした場合、どういうふうに建てたら御宿中学校にできるだろうという部分を現場の先生方にも見てもらってるんですよ。その中でどういうふうに教室を使ったらいいだろうとか、中学生と小学生をぶつからないようにしたり、いろいろ安全面も考えて、ここならいいんじゃないかという部分を先生たちにも見てもらって、今の場所の候補地を選定させてもらって、先ほど説明ありましたが、特別教室等は当然共有で使わないといけないからということで、うまい具合じゃあどうやったら使えるだろうね。みたいなものまで、ちょっと検討をさせていただいているところです。ただ、あのやっている中でどうしても視察行った先でもやはり調整ってすごく難しく、先生たちにもご苦労かける部分というのは、ある程度の視察をしてわかってきているところなので、その中で上手に使うためにはどうしたらいいかというのは、考えていかなきゃいけない。ただ、あの教室が足りないってことがないようには考えていかなきゃいけないというのはよくわかりました。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。

まだはっきりしないところがあるみたいなんですけど、やはり工夫しないといけないところはどこでもあると思います。今言ったところ、どこかに決めてもそれがベストというところは多分

ないんじゃないかなと思います。それにやはりベターなところで考えていかないといけないんじゃないかなというように思います。あとは、そこに関わる人の工夫。例えば、校舎建築に関しては教育委員会で工夫してもらおう。また、実際、現場で子どもたちを指導する先生には、また先生方でそこで工夫していただくと言うようなところが必要になってくると思います。具体的ではないんですけども、やはりそういうことを考えていかないとある程度こう絞りきれないんじゃないかなと思いますので、それぞれがやはりそういうことを考えながらやっていくことが必要じゃないかなと私は思っています。

(教育課長)

はい、議長、一点追加でよろしいでしょうか。

(委員長)

はい、どうぞ。

(教育課長)

この委員会は、そのまま建設委員会に移行していただこうと思っています。なので、どこがこう選定場所になっても、今後建築をする上で部屋を見ていただいたり、設計図を見ていただいたり意見を聞くというような場所となりますので、今新島委員がおっしゃることも分かるのでそこにまた意見を言えるような場所として考えておりますのでご了承いただきたいと思います。

(委員長)

はい、ありがとうございます。他にございますか。

(北村委員)

北村です。

やっぱりなかなかこの場で、まあ事務局さんはこの場で一つに選定してもらえればありがたいというお話もありましたけれども、なかなか苦戦しているかなと思いながら聞かせていただいておりますが、やはり先ほど新島委員からもお話ありましたが、この御宿小の建て替えというものの位置付けをこの町にとって、それをどういう意味を持たせていくのかと。で私が前回勝手な思いとしてお話しさせていただいたように、10年後、20年後、30年後、見据えてこの町を個人的には、人口推計通りにだんだん子どもも減って、若者も減ってどうなってしまうのだろうという町にはしたくないなど。やはりこのコロナのこともそうですけれども、世の中にはやはり思いもよらないことが起きるし、あるいは意志を持ってみんなで動けば、推計通りにはいかないぞと。そうした時に引っ越してでも新しいこの御宿小学校に入れてあげたいな、この町で子育てしたいなと思う人達が移住して来たいと思うような、小学校をどちらの敷地に作るにしても作るべきだと。みんなでそれを模索するべきだと言う気持ちでいます。そうした時にどっちがそういう学校にしやすいかなという目で、僕は最初からずっと見てるんですが、そうするとやはりもとある御宿中の敷地内にいろんな工夫を重ねながら、入れ込んでいくとい

うよりも、やはり今回概算ですがコストが出ました。それから課長からスクールバスの話として、かたや3割、かたや9割負担、その金額は今回出てないですけども建て終わった後のランニングコストという意味でも結構かかっていくんだらうな。ということも重くのしかかってはきてるんですが、それでも先ほど投資という話がありました。もっといえば、やはりこの町をどういう町にしていきたいか。やはり子どもの声があちこちで響く元気な声が自然の中で、のびのび遊ぶ子どもたちの声が非常に響く、もっともっとそういう方向に持っていきたいなど個人的には思っているので、スクールバスとかもう少し具体的な数字を見てみないと。さすがにそうは言ったってという夢ばかり膨らまして、お金がこんなにかかっちゃいましたというのも難しいし、やはり現実的な線というのは当然あると思っておりますので、そういう意味で申し上げてしまいましたが、一つはやはりこの御宿小学校の建て替えということをどういうビジョンを見据えて、どういう意味付けを持たせるという議論が一つ必要なのかなというのと、あとは2つの案を親御さんの方にも投げるといふ方向になるとすれば、やはり今まで明らかになっていないスクールバスあるいは学童の話というのも比較するような検討資料などがあって、初めて投げられるかなと。それもすぐというわけにはいかなんでしょうけども。その投げ方というのもやはり難しいしもう少し時間がかかるのかなと思いました。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございました。その辺については、投げかけみたいな部分もありましたけども、今後のスケジュールも含めてということでした。

(教育課長)

はい、一旦区長さんたちにもお話を聞こうと思っております。先ほどお話したとおりですが、保護者にどう投げっていくのかも検討させていただきます。コロナ禍でやはり集まるのが難しいという学校もあると思いますのでその辺の投げ方というのは非常に難しい。意見を聞かなければいけないとは思っていますので、ただその聞き方が今の状況なので、皆さんを一箇所に集めて意見を聞くということがなかなか難しいのかなという部分もありますので、また検討ということですけども今後の方針としましては、そのようなところです。区長さんたちからどのような意見が出るかは、この2箇所を出した場合に、住民に対してどう聞いてくださいというような話が出るのか、いずれにしてもそこでいただいた意見をまた検討して、地域に出るような流れになるのかなと。集約したお話をまた教育施設検討委員会へ持ち帰りますので、また委員の皆さんからご意見をいただく流れで1箇所に絞ればと考えております。

(委員長)

はい、ありがとうございました。また、地域、そして保護者などへ投げかけて、それを集約してまたこの委員会に出していただく。今後のスケジュールとしてはそのような流れということでご理解いただければと思います。

(教育課長)

すみません。最終確認ですが、2箇所を出していくということによろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育課長)

はい。では、そのようにさせていただきます。

(委員長)

はい、お願いします。

それでは、議題の2に入ります。その他になりますが、今後の予定について事務局よりお願いします。次回の予定というところでいかがですか。

(教育課長)

先ほどスケジュールというところはおおまかには決まっているんですけども、その地域に出るとかどのくらいの期間でできるのかということが現時点ではなんとも計り知れないので、年内には1回開催できるようにとは考えております。少し集約の期間をいただいて、できるだけ早めに開いて、今年度中でお願ひしたいというこちらのお願ひもありましたので、できるだけ早めに意見集約をさせていただいて、皆さんにまたお集まりしてしていただければということでございます。

(委員長)

はい、ありがとうございました。次回については、また皆さんにご連絡がいくと思いますので、よろしくをお願いします。

それでは、事務局にお預けします。

(事務局)

どうもありがとうございました。

以上をもちまして、御宿町教育施設検討委員会を終了いたします。

本日は、ありがとうございました。